

1等にもビリにもそれぞれ違った価値がある

樋野興夫著

病気は人生の夏休みより

先頭を走れなくなったからといって焦らなくてもいいんです。

人生とは相対的なもの。たとえ周回遅れであっても、ある人からはあなたが先頭を走っているかのように見えます。

先頭を走っている人だけに価値があるわけではありません。1周遅れのビリにだってトップとはまた違った価値があります。

1周遅れには1周遅れの責務があるのです。

遅くたって人として品性があればいいじゃないですか。必死の形相で先頭を駆け抜けるのもよいけれど、余裕を持ってにこやかに走り続けるのも立派です。

私たちは、「にもかかわらず」がんばっている人に励まされます。

人生は1周遅れぐらいがちょうどいい。

1等にもビリにもそれぞれ違った価値があるのです。

